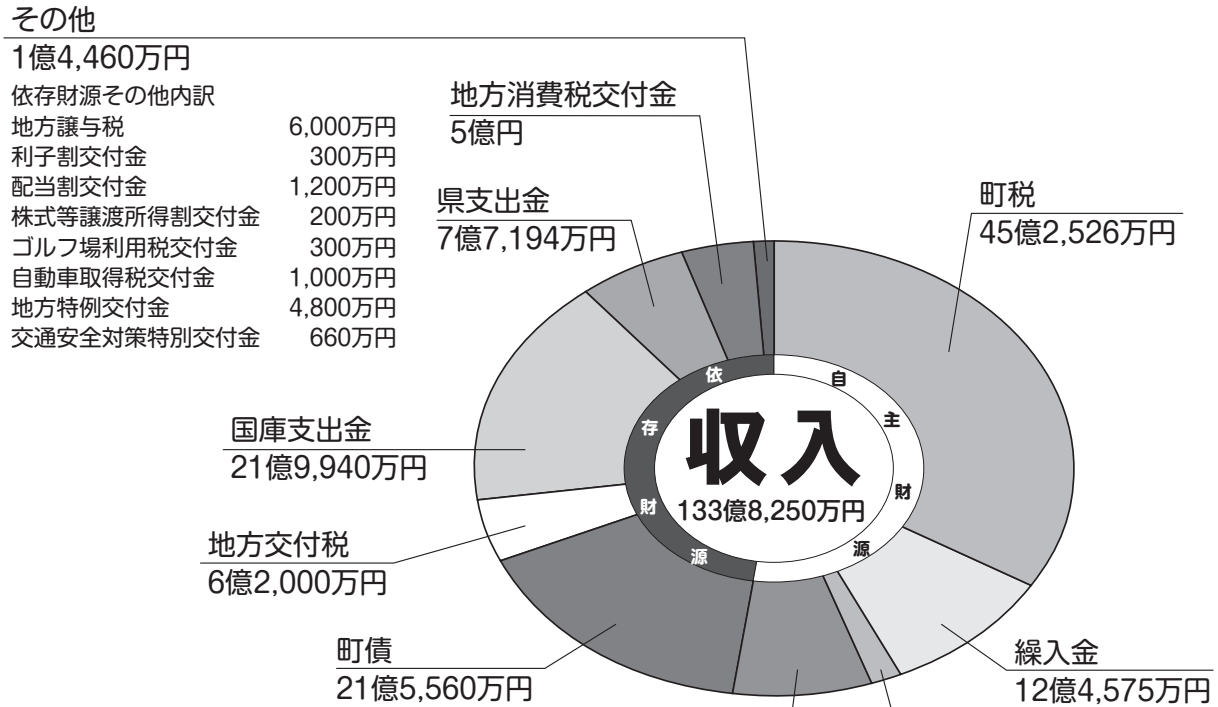
町の予算 平成30年度

本年度の一般会計と特別会計・事業会計の予算総額は192億8,325万円です。前年度の当初予算と比較すると22億5,096万円（対前年度比13.2％）の増となっています。

※金額は万円単位で端数処理しているため、合計が合わない場合があります。

■ 問い合わせ先　役場政策経営課　☎962-0230（直）



収　　入

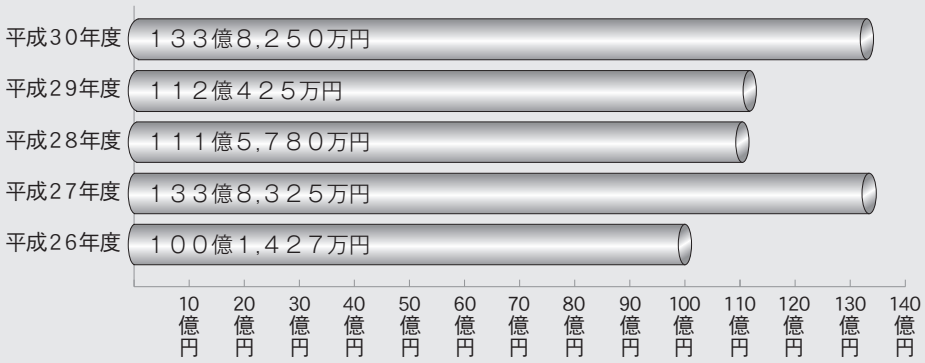
収入のなかでは、町税が最も大きな割合（33.8％）を占めています。人口や住宅が増加していることにより町民税や固定資産税の増などが見込まれるため、前年度当初予算と比べて6,236万円の増を見込んでいます。

その他の主な収入は、新設中学校建設事業や周辺整備事業などの実施により国庫支出金が4億9,605万円（対前年度比29.1％）の増、地方債が8億4,100万円（対前年度比64％）の増、不足する一般財源を補うための基金繰入金なども3億7,257万円（対前年度比42.7％）の増となりました。

また、ふるさと納税事業実施に伴う一般寄附金（ふるさと納税寄附金）は3億円（対前年度比100％）の増で計上しています。

一般会計

一般会計予算の５年間の推移

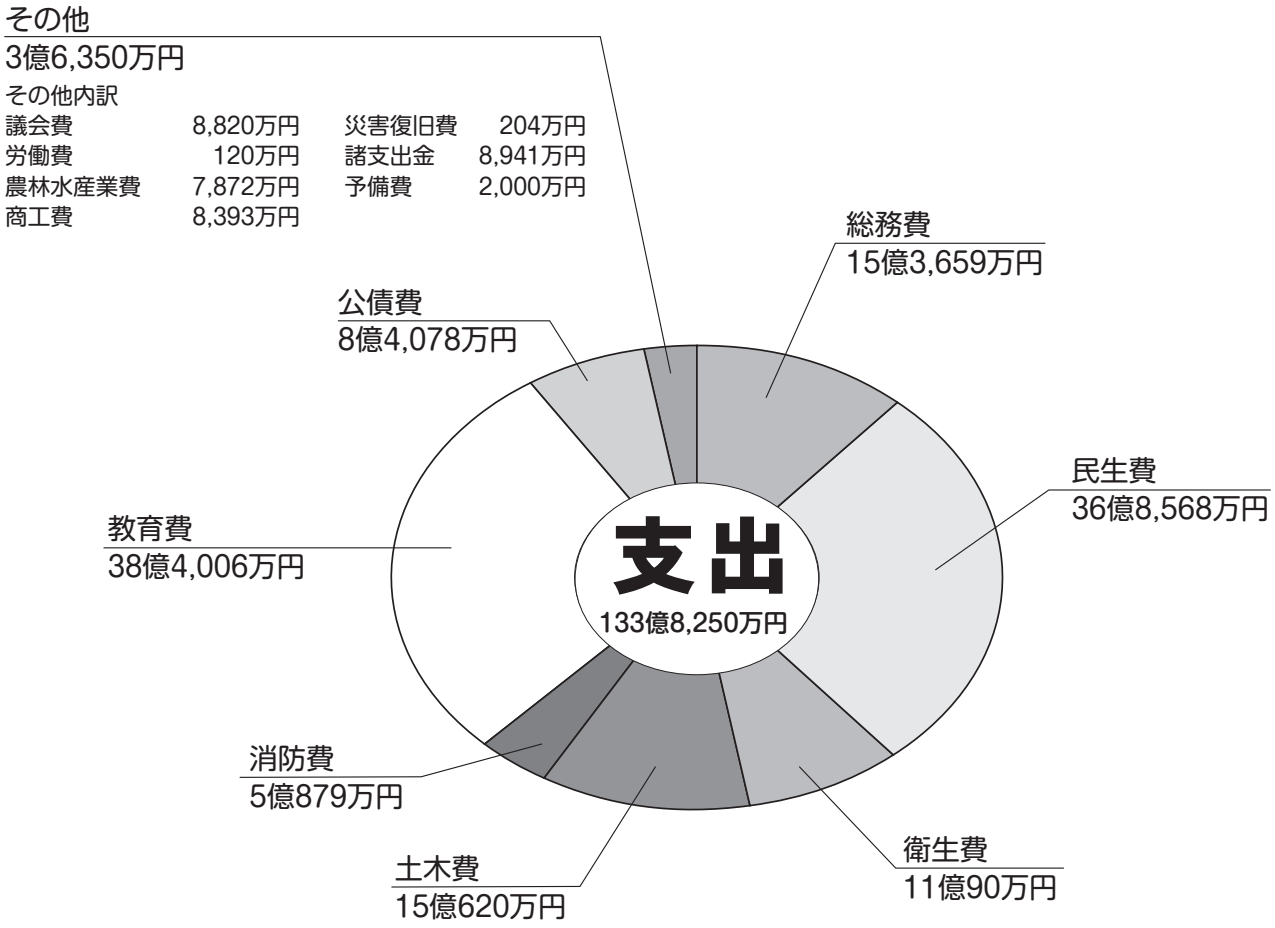


一般会計総額

133億8,250万円

（対前年度比19.4％増）

福祉や環境、教育などに使われる一般会計予算は133億8,250万円で、前年度と比較すると、21億7,825万円（対前年度比19.4％）の増です。



支　　出

事務経費などの経常経費の徹底した削減や事業の必要性や効果を見極め、効果の低い事業や役割が終了した事業の縮小・廃止を進める一方で、人口増加に対応するための義務教育関連施設整備事業、子育て支援や高齢化社会に向けた福祉事業、道路整備事業や公共下水道事業などの生活基盤整備事業を実施します。

支出のなかで最も大きな割合（28.7％）を占めているのは教育費です。平成31年4月開校予定の新設中学校建設事業を計上したことなどにより14億951万円（前年度比58％）の増となりました。次いで大きな割合（27.5％）を占めているのは民生費です。民生費は福祉センターの管理・運営が町に移行したことや、シーオーレ新宮の管理費などにより2億2,624万円（対前年度比6.5％）の増です。

また、総務費は、ふるさと納税事業の拡大などにより、2億7,851万円（同22.1％）の増となっています。

平成30年度 一般会計予算の主な事業

民生費

民生費は住民が安定した社会生活を過ごすための経費で、社会福祉や障がい者、高齢者、児童福祉などに関するものがあります。

本年度は、新宮ふれあいの丘公園に建設する高齢者施設の設計委託料1,702万円や、福祉センターを町が管理・運営することに伴う管理費2,651万円、シーオーレ新宮管理費6,457万円を新たに計上しています。児童福祉分野では、児童手当として7億7,328万円、保育所への財政支援である施設型給付費・地域型保育給付費7億6,574万円、障がい者福祉分野では自立支援給付費4億7,185万円を計上しています。

その他の主な内容

- 国民健康保険特別会計繰出金　（2億3,810万円）
- 介護保険広域連合負担金　（2億1,249万円）
- 後期高齢者医療療養給付費負担金（2億1,705万円）

総務費

総務費は全般的な管理事務や徴税、選挙などに用いられる経費です。ふるさと納税への取り組みを強化するふるさと納税事業費3億9,925万円、土地の境界の位置と面積を測量する地籍調査に関する経費3,868万円、コミュニティバスの購入に関する経費2,211万円、相島区・立花口区・的野区の地域振興を支援するまち・ひと・しごと創生総合戦略事業費950万円を計上しています。

その他の主な内容

- コミュニティバス運行補助金（4,337万円）
- ＯＡ機器購入費　（2,052万円）
- クラウドサービス利用料　（2,516万円）
- 行政区運営補助金　（1,175万円）

教育費

教育費は教育委員会や小中学校、幼稚園、社会教育に関する経費が計上されています。

本年度は、平成31年4月開校予定の新設中学校建設および備品整備などの開校に要する事業費24億4,985万円を計上しています。また、認定こども園などへの財政支援である施設型給付費を7,584万円計上しています。

社会教育分野では、公民館の整備、改修を行う行政区への補助金を1,400万円、またそぴあしんぐうの駐車場増設工事などの施設整備工事費2,597万円を計上しています。

その他の主な内容

- 小学校給食調理委託料　（7,614万円）
  ※相島小学校を除く
- 私立幼稚園就園奨励費補助金　（7,048万円）
- 文化振興財団補助金　（3,300万円）

衛生費

衛生費は住民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費で、感染症予防やごみ処理に関する経費などが計上されています。

本年度は、相島じん芥処理場の焼却炉などの解体工事費1,555万円や簡易水道施設の整備事業などの実施により、一般会計から簡易水道事業特別会計への繰出金を前年度と比べて3,577万円増加し、7,506万円計上しています。

その他の主な内容

- 各種予防接種委託料　（1億1,890万円）
- 妊婦一般健康診査委託料　（3,729万円）
- 通所療育事業委託料　（2,450万円）
- 玄界環境組合負担金　（3億8,746万円）
- じん芥収集委託料　（1億7,159万円）
- し尿処理委託料　（3,908万円）

特別会計・事業会計

特別会計・事業会計は、一般会計の歳入歳出と区分して特定の目的に対して設置されている会計のことで、新宮町には７つの特別会計と２つの事業会計があります。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険制度改革の実施などにより４億4,222万円（対前年度比16.3％）の減です。簡易水道事業は、施設整備事業および渇水対策事業の実施により4,964万円（対前年度比77.4％）の増です。

公共下水道事業会計は、本年度から公営企業法を適用した会計を開始することに伴い非現金予算を計上するため、４億3,088万円（対前年度比29.9％）の増となっています。

特別会計・事業会計総額

59億75万円

（対前年度比1.2％増）

国民健康保険や水道事業などの特別会計・事業会計予算の合計は59億75万円で、前年度と比較すると7,271万円（対前年度比1.2％）の増です。

（単位：万円）

特別会計	本予算	増減額
渡船事業特別会計	11,840	220
国民健康保険特別会計	227,780	△44,222
後期高齢者医療特別会計	31,644	1,266
住宅新築資金等貸付事業特別会計	67	0
相島診療所事業特別会計	4,238	△2,408
簡易水道事業特別会計	11,382	4,964
相島漁業集落環境整備事業特別会計	1,281	△9
水道事業会計	114,566	4,370
公共下水道事業会計	187,277	43,089

※金額は万円単位で端数処理しているため、合計が合わない場合があります。

平成29年度からの繰越事業

- 地方公共団体情報システム機構負担金（315万円）
- 社会資本整備事業（4,000万円）
- 都市再生整備計画事業（4,917万円）
- 立花小学校プール等改修事業（4,216万円）
- 新宮ふれあいの丘公園整備事業（5億1,850万円）
- 消防施設用備品購入事業（983万円）

土木費

土木費は道路・公園の整備や、都市計画に関する経費などが計上されています。

本年度は、平成28年度から取り組んでいる新宮ふれあいの丘公園整備事業費を4億1,200万円、新設中学校の通学路や周辺道路の整備事業を含む社会資本整備事業費を3億74万円計上しています。

また、町営住宅雲雀ヶ丘団地の建て替えのための住宅建設費4,488万円を計上しています。

その他の主な内容

- 公共下水道事業負担金　（2億6,240万円）
- 都市再生整備計画事業費　（1億1,495万円）
- ＪＲ関連工事等委託料　（2,000万円）
- 町道補修工事費　（5,000万円）

その他

その他の経費として、町議会の運営経費に用いられる議会費や失業対策事業などに用いられる労働費、農林水産業の振興などに用いられる農林水産業費、商工業の振興や観光事業の経費に用いられる商工費、防災・消防に用いられる消防費、災害復旧に用いられる災害復旧費、地方債の償還金に用いられる公債費、基金への積立などに用いられる諸支出金やその他臨時のときに用いられる予備費があります。

主な内容

- 議員共済会負担金　（1,192万円）
- 農業施設新設改良工事費　（1,630万円）
- 新宮町おもてなし協会補助金　（1,320万円）
- 消防車輌購入費　（1,083万円）
- 粕屋北部消防組合負担金　（3億9,539万円）